

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	・作業打合せ(KY活動) ・規制及び作業内容等の確認 ・車両の運行前点検 ・回送、規制内流入 ・露出ケーブル、埋設ケーブルの確認。	・安全打合せ書により確認及びKY活動実施 ・作業員全員へ注意事項等の周知徹底 ・作業別安全チェックシートの活用 ・作業車の安全装置の確認
伐採・草刈り	・伐採、草刈り作業手順書に基づき作業を行う。	・伐採、草刈り作業手順書による保護具の着用。 ・適正な作業間隔を保ちながらの作業。
鉄筋打ち込み	・大ハンマー等を用いて鉄筋を打ち込む。	・鉄筋長さにより、打ち込み深さを決定する。 ・ネットの長さに基づき、適正な間隔で鉄筋を打ち込む。 ・ハンマーで手などを打たないように十分気を付けながら作業を行う。 ・打ち込み前に周りの状況を確認してから打ち込みを行う。
落石ネット設置	・打ち込んだ鉄筋とネットをインシュロック、番線等で連結する。	・ネット幅、長さにより鉄筋との連結箇所及び連結数を決定する。 ・ネットの歪みや絡まりがある場合は、直してから取付を行う。
片付け	・現場周辺の清掃。 ・現場周辺に使用した材料、道具を残さないように片づける。 ・車両荷台の飛散防止を行う。 ・車両運行前に、車両周りを確認してから運行する。	・現場離脱前に最終確認を行ってから、現場離脱。

作業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
作業指導者・責任者	1	名	草刈り機		落石ネット		ヘルメット	
現場監視員	1	名	チェーンソー		鉄筋		警笛	
先端監視員	1～2	名	フロアー		インシュロック		手袋	
作業員	3～5	名	大ハンマー		番線			

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.機械作業は、有資格者が必ず行う。(免許・資格証は必ず携帯する)
- 2.機械の操作方法、安全装置の確認を充分行うこと。
- 3.一人作業の禁止
- 4.車両誘導の徹底